



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2013-2014年度 R I 会長 ロン D. パートン

●クラブテーマ「心を見つめよう」●



第2590地区 ガバナー

市川 緋佐磨

- 会 長 伊 東 英 紀
- 会長エレクト 山 田 正 憲
- 副 会 長 江 森 国 一
- 副 会 長 横 山 範 夫
- 幹 事 山 本 芳 弘
- 副 幹 事 植 田 清 司
- 会 計 朝 日 達 夫
- 副 会 計 須 永 久 一
- S A A 矢 野 修 二
- 副 S A A 小 山 市 康
- 副 S A A 石 川 正 三
- クラブ会報 佐 藤 勝 彦



写真提供 小池将夫会員

事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
 TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
 例会日 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)
 例会場 ホテルキャメロットジャパン 創立記念日 昭和 51 年 5 月 29 日
 URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
 E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2013-2014年度 第19週報 No. 1813 2013年(平成25年) 11月15日 第1813回例会記録 11月22日発行

司 会 植田 清司 副幹事

点 鐘 江森 国一 副会長

斉 唱 「それでこそロータリー」

四つのテスト 伊澤 政宏 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 松田 智生 様 (ゲストスピーカー)

ビジター紹介 神奈川 R.C 天羽 栄作 様
俱知安 R.C 尾崎 春人 様

誕生日祝 中村 眞巳 会員 (11月18日)
白鳥 厚夫 会員 (11月19日)
小池 将夫 会員 (11月21日)
我妻 隆邦 会員 (11月21日)



本日〈11月22日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「手に手つないで」
- ◆ 献 立 幕の内弁当
- ◆ 卓 話 「国際親善奨学生としての
留学経験から得たもの」
国際親善学友メンバー 筒井 紀貴 様
(紹介者 吉田 隆男 会員)

<< 本日のBGM 「黄昏の中で」 / ジョン・コルトレーン >>

会長報告

江森 国一 副会長

・11月度定例理事会報告

幹事報告

山本 芳弘 幹事

・本日、例会終了後にクラブ協議会を開催します。

場所 ジュビリーⅢ

・次週、例会にてクラブ細則変更の採決を行います。お忙しいこととは存じますが、例会へのご出席をよろしくお願ひします。

出席報告

岩澤 利雄 出席副委員長

会員総数	54名	(36+18)名	
出席会員数	42名	(32+10)名	
出席率	91.30%		
ゲスト	1名	ビジター	2名
前回補正後	88.64%	前々回補正後	92.00%

スマイルボックス

矢野 修二 SAA

小池将夫君 誕生祝いをありがとうございます。当クラブで20回目、通算70回(71歳)です。

白鳥厚夫君 ①松田智生さん、卓話、楽しみにしています。②誕生日祝い、ありがとうございます。

岩澤利雄君 2週連続でサボりました。南アフリカへ行って来ました。初夏の気温の32℃から日本の寒さで震えています。

山本 登君 インフルエンザワクチン、ちょっと痛い。

横山範夫君 ①松田智生様、卓話、よろしくお願ひ申し上げます。②鴻さん、藍綬褒章おめでとうございます。

江森国一君 ①先週の指名委員会で、次々年度の会長候補の指名を頂き、大変光栄に存じます。微力ながらクラブのために全力を尽くして参ります。②一昨日開催された朝日会員の会社のゴルフコンペでは、朝日会員並びに社員の皆様に大変お世話になりました。賞品泥棒との罵声を浴びつつ、すべて持ち帰りました。ありがとうございました。

西山 潔君 天羽先生、ようこそいらっしやいました。いつまでもお元気で活躍下さい。

山田正憲君 最近、我が家に親子の狸3匹が現れます。丸々と太っています。

天野公史君 先日の朝日さんのコンペではお世話になりました。大変辛い一日でした。“へぼ”に付ける薬はありませんか？

茂木知子さん ～気になることを言われます～まず、月山会員から、「すっきりしちゃったね。」激やせして死期が近いのでしょうか。次に赤堀会員から、「どうしたのですか、そんな地味な格好をして。」もっと派手にしろとのことでしょうか。

友添辰哉君 河野さん、本日、会社に車を停めせてもらいました。駐車代、スマイルします。

11月15日

11件

26,000円

本年度累計

842,238円

卓話

「アクティブシニアのライフスタイル

～超高齢社会の新産業と地域活性化」

三菱総合研究所 プラチナ社会研究センター 松田 智生 様
(紹介者 白鳥 厚夫 会員)



高齢化率25%という超高齢社会に直面する日本では、高齢化をピンチではなくチャンスと捉える逆転の発想が求められている。つまり、高齢者が社会のコストでなく「担い手」となる視点であり、こうした新たな目指すべき社会像は、従来高齢化を表すシルバーという言葉よりも、プラチナのように上質で輝きを失わない「プラチナ社会」と呼びたい。

プラチナ社会では生き活きと活躍するアクティブシニアのライフスタイルが求められており、その事例として米国の大学連携型リタイアメント・コミュニティでは、シニアはゴルフ三昧の老後だけではなく、知的刺激や多世代の交流を求め大学の近くに住み、大学で歴史や文学や新たに学びたい分野を学び、また学生のキャリア・アドバイザーや留学生のホストファミリーなどを通じて再びキャンパスライフを満喫する。シニアの貴重な経験や成功談・失敗談、幅広い人脈は、学生にとっても有益であり、大学にとっても教育・研究・地域貢献の視点から有益である。

老後に大切なのは、「きょうよう」と「きょういく」と言われる。それは「教養」や「教育」だけでなく、「今日用」があること、「今日行く」ところがあるという意味であり、何かの目的や生きがいを持つことが重要である。また老後に少なくなるのは、誰かから「ありがとう」や「おかげさまで」と言われることである。誰かの役に立っている、何かに夢中になっているという気持ちが、結局シニアの生きがいをもたらす、老化を防止するのである。

今、日本が目指すべきプラチナ社会は、高齢者のためだけの社会ではない。高齢社会とは若年層・ミドル層・子育て層を含めた多世

代のための成熟した社会であるべきであり、ここでは誰かとのつながりや絆を得られ、さらに誰かのために役立っているという実感が得られる多世代交流型の社会である。

こうした新たな挑戦に際しては、出来ない理由ばかり論理的に述べる「否定語批評家」が世の中には多い。しかし、幾ら出来ない理由を述べても、現状の問題は一つ解決しない。否定・批評をしたら必ず対案や代案を出すルールにすることで、会議や打合せは劇的に変わる。こうした建設的な討議や行動のなかで、産官学が一步踏み出し連携することが重要である。

アクティブシニアが多世代のための担い手になる社会を実現することが、かつて黄金の国ジパングと呼ばれたわが国が、プラチナの国日本として再び輝くことになるのである。

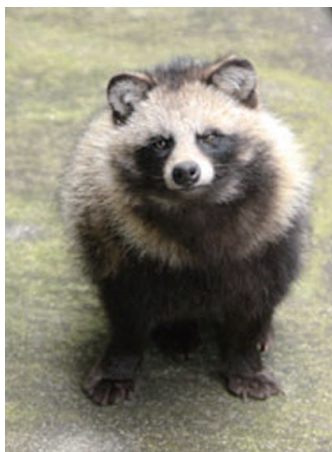
第2回クラブ協議会

11月15日（金）例会終了後に第二回クラブ協議会を開催され、各委員長より活動計画と進捗状況について報告がなされました。



クラブ会員の広場

山田正憲会員の庭にためきの親子がいました。



ロータリーニュース

ロータリーに支えられアメリカで夢をかなえる

私は幼い頃、家族でベトナムから米国に移住しました。共産党の支配下にあったベトナムよりも、よりよい生活を子どもたちにさせたいと父が願ってのことでした。しかし、新天地の米国でたどり着いた町は、カリフォルニア州オークランドの低所得者地域。毎晩、銃声が鳴り渡るような地域に住み、また私が通ったフレモント高校は、地域で最も評判が悪く、貧困と暴力が絶えず、中退率が高いことでも有名でした。

高校3年のある日、ロータリアンのグループが私のクラスを訪れました。彼らは、オークランド・ロータリークラブの主催する「起業家塾」(Enterprise Institute)について話にきたのです。この起業家塾は3日間の合宿で、高校生がビジネススキルを学ぶというものでした。サンタクルーズ山中に滞在し、ほかの高校生とビジネスプランをつくることにそれほど関心があったわけではありません。しかし“ビジネス”といえば葬儀屋、酒屋、麻薬ディーラーしかない地元を数日間でも逃れられるなら、と起業家塾への参加を決めました。

この起業家塾では、新しい世界を目にすることができました。私と同じ年頃の参加者は、プラトンやシェイクスピアを話題にするような学生たちでした。襲撃事件や銃犯罪にまみれた自分の地元とは全くの別世界です。この合宿で「起業家」という言葉を初めて耳にし、自分よりも遥かに優秀な学生に囲まれて、いかに勉強不足であるかを実感しました。切磋琢磨して事例研究に取り組み、独自のビジネスプランを作る中で、犯罪や刑務所とはかけ離れた別世界での未来を思い描くことができました。大学進学や、将来のビジネスについて語る高校生たちに混じって、自分も同じような未来を歩みたいと思うようになったのです。

自分の境遇を考えると、同じ夢を達成するには、ほかの学生の何倍も努力しなければならないと分かっていました。しかしこの合宿が転機となって、大志を抱き、夢に向かって全力で努力しようと思えるようになりました。

一歩一歩、夢に向かって

貧しい家だったので、大学進学には奨学金が必要でした。しかし移民であることを理由にほとんど奨学金が得られず、20通出した申請書のうちで唯一、奨学金を提供してくれたのはオークランド・ロータリークラブでした。

ロータリアンが私と面談し、生い立ちと将来の夢を聞いてくれました。応募者はほかにもたくさんいただろうと思いますが、最終的には私に5,000ドルの奨学金を提供してくれました。これは私を信頼してくれた何よりの証です。この奨学金のほかにも学生ローンを借りて、大学に進みました。

奨学金で寮費と教科書代を工面して、進学したのはカリフォルニア大学デイビス校です。最初の3年間は、奨学金のおかげでアルバイトせずに学業に専念できました。

オークランド・ロータリークラブの会員、テリー・ターナーさんが私のカウンセラーとなってくださり、いつも学業はうまくいって

いるかと尋ねていただきました。それに対して、私は率直に、勉強についていくのが難しいことを打ち明けました。

私の高校は、卒業後にカリフォルニア大学へ通えるレベルの教育を行っていなかったのです。ターナーさんは辛抱強く私にアドバイスをしてくださり、私もそれに耳を傾けました。母校の高校からこの大学に通う学生がほかに3人いましたが、2学期が始まる頃には3人とも退学し、残るは私一人だけでした。私はあの「起業家塾」をきっかけに夢に向かって歩き始め、ロータリーの奨学金に支えられて、夢に向かってまい進することができたのです。

大学を卒業して、いくつかの中小企業で仕事をした後、2004年に「ノバテックPC」という会社を立ち上げました。起業とともに、オークランド・ロータリークラブにも入会しました。クラブでは、私の新しい会社の顧客になってくれた会員もいます。この会社は成長して、今では3名の従業員を雇うようになりました。私生活では、結婚して二人の娘に恵まれています。

昨年、妻と長女を連れてベトナムを訪れました。30年前に離れた故郷は小さな漁業町でしたが、今では急速に発展する近代都市に変貌していました。また米国で私が育ったオークランドの家も様変わりし、よく遊んだバスケットボール場は住宅複合施設になっていました。

今でも変わらず続いているものといえば、オークランド・ロータリークラブの起業家塾です。30周年を迎えた現在も、高校生を集め

て合宿を行い、ビジネスの世界でキャリアを築く方法を教えています。私もこの起業家塾を支援して7年が経ち、共同委員長を務めるようになりました。今私がこうして支援するのは、起業家塾が未来に対する青少年たちの考えを変え、より明るい将来への希望を与えてくれると、身を持って知っているからです。



ザ ロータリアン誌

次週《11月29日》の予定
優良職場訪問、及び夜間例会

ロータリー美術同好会発足

美術同好会と

ロータリアン展について

ロータリアン展は、51年前横浜RCの上野豊PG、故加藤進治PG、故新井清太郎PPによって始められ、一昨年50会記念展、昨年51回展と50余年に亘り開催されて来ましたが、当初は関内ギャラリーで、横浜RCの同好の士が出演し、その後地区内のプロの方々に参加され、更に地区内の同好の士、更には第2780地区のプロの方、はたまた同好の士も参加され、壁面の広いギャラリーヨコハマで開催し盛会をきわめてまいりました。

しかしながら会員減少の波は例外なくこの展覧会も及び、近年では出展の枠を会員の家族にも広げてきました。しかしこれが思わぬ効果を生み家族同士の親睦に大いに役立つ結果となりました。

また、ロータリアン展と並行して、若手画家の育成にも力を入れ、各美術団体の会派に呼びかけて、若手画家の作品展を開催し、審査で選んだ作品をロータリー賞としてクラブで買い上げ、それを県や市などに寄付し、公共の場に展示、多くの人に鑑賞してもらう機会をつくって来ました。

これまでは、横浜ロータリークラブが中心でとなり、会員有志の方々が運営を引き継いで参りましたが、広く第2590地区全体に呼び掛け、ロータリー展の更なる発展を目指す事として美術同好会設立を起案いたしました。

今後も芸術を愛好し、情操と親睦、さらには新世代育成への奉仕に尽力できればと念願し、展覧会の発展に努力したいと考えておりますので、ぜひとも美術同好会への入会をお願いします。(箕田敏彦・記)

《昨年の出展作品から》



横浜 RC 上野 豊会員 (油彩)



横浜 RC 箕田敏彦会員 (油彩)



横浜 RC 篠沢幹夫会員 (油彩)



横浜ベイ RC 山本悦子会員 (油彩)



横浜 RC 柴田会員令夫人 (油彩)



神奈川東 RC 小池将夫会員 (写真)

主な活動予定 (2013～2014年度)

1、地区大会展示コーナーで

ミニ展示 + 広報活動

(2013年10月18・19日)

2、美術同好会設立

(2013年11月)

3、ロータリアン展開催

2014年2月10日(月)～15日(出)

ギャラリーセルテ (関内駅前)

会期中、懇親会を行います。

その他の課題として、今後のロータリー賞について検討する。

会費及び会則について

出展者の範囲は、ロータリアンとその家族と定められておりますが、それ以外の会則は今のところありません。今後は、同好会としての組織を形成し、運営を皆さんで協議し、必要であれば簡単な会則を決めたいと考えております。

また、会費につきましては、これまでは出品点数により、1万～2万円のご負担をお願いしておりましたが、会則・活動予定と合わせて皆さまと協議してまいりたいと思います。